

公開収録一般参加者募集のお知らせ

2018年7月11日(水)

京都大学
百周年記念時計台
会議室Ⅲにて

(17時30分開場) 18:00-20:00

先着順・事前申込制・入場無料

定員20名

【申込受付】(どなたでも申込できます)

6月8日9時～7月9日9時まで

※本イベントは、現代作家アーカイブ構築のためのインタ
ビュー収録を公開で行うものです。当日の様子は撮影され、映像
はインターネット等で公開される予定です。映像に関する権利
はすべて飯田橋文学会に帰属し、個人の映像の削除等のご依頼
にはお答えできません。また、当日の質疑応答の時間は限られて
いるため、質問の数を制限させていただく可能性がございます。
以上ご了承のうえ、参加をお申し込みください。

申込ホームページ

<http://iibungaku.com/news/16.php>



※出版、メディア関係の方は、上記の申込フォームからではなく、
takeda@boz.c.u-tokyo.ac.jpまでご連絡ください。

〔聞き手〕小林久美子(京都大学准教授)

村田喜代子

(小説家)

〈現代作家アーカイヴ〉by 飯田橋文学会
文学インタヴュー第16回

村田喜代子自選の代表作

『鍋の中』、『八つの小鍋—村田喜代子傑作短篇集』所収 『熱愛』
(1986)

『屋根屋』
(2014)

『焼野まで』
(2016)

※収録当日は、これらの作品を軸に作家が語ります
ぜひ、ご一読のうえでのご参加をお薦めします



飯田橋文学会〈現代作家アーカイヴ〉とは? 平野啓一郎(作家・飯田橋文学会)

本プロジェクトでは、現在活躍中の作家を毎回一人ゲストに招き、自らの代表作を三作選んでもらった上で、
創作活動の全般について、インタヴューを通じて語ってもらいます。

読者にとっては、その作家の何をまず読むべきか、また作品相互をどう関連づけるべきかを知る、格好のヒントとなるでしょう。
インタヴューは、公開収録によって映像化され、原則的にすべて英訳字幕を付されて、ネット上に公開されます。

国内外の多くの文学ファンにとって、貴重なアーカイヴとなることを期待しています。

お問合せ: takeda@boz.c.u-tokyo.ac.jp